第二五回 山口大学人文学部国語国文学会研究懇話会

二〇一〇年一二月四日

主

塚

美

学 会 彙 報

第三五回 山口大学人文学部国語国文学会研究発表会

二〇一〇年五月九日 日 日

島 田 かおり

日本語と中国語の同形語の意味・用法の差異につ ついて 日本語学習者の誤用分析

中

-国語母語話者の事例研究-

参加者の振り返り記述をもとにした日本語授業の質的研究 漢字熟語の使用に関する調査結果の分析― 許

『雨月物語』「浅茅が宿」における宮木像

新聞記事をめぐっての大学生の談話分析―

守

古

漢字イメージマップの検討

鬼」を素材にして一

制限時間内の発表力向上のためのエクササイズ

大学生対象の構成的グループ・エンカウンターの実践研究

大学院予備教育としての日本語指導

外国人留学生のための特別支援プログラムについて― 木 村

予備教育における日本語学習者に求められる読解能力 マレーシアマラヤ大学予備教育部の事例をもとに

期待される授業に関するマップ調査研究

初年次生と専門生の比較

蕾 林 伸

衛

二〇一〇年度講義題目

学校司書という仕事

大学院

日本語論Ⅱ 日本語論Ⅰ

恵 玉 日本語論演習 日本語論Ⅱ

政 舘 昭 亜佳里 浩 日本文学論Ⅰ 日本語論演習

翔太郎 日本文学論Ⅱ

日本文学論Ⅰ

佐々木

日本文学論演習 日本文学論Ⅱ

日本文学論演習 日本文学論演習

尾

Ŧ

佳

深

見

知

南

学 部

直

美

日本語学Ⅳ 日本語学Ⅲ (現代日本語 (統語論、 意味論、

日本語史(文字史、 音韻史

日本語学特殊講義

Ш

達

音声学) 前 林 磯 \mathbb{H}

伸

(構成的グループ・エンカウンター) 部 佳 宏 子

林 伸

佳 - 3 -

尾

森

野 部

正

弘 宏

磯

林 添 磯 林

伸

部

佳 伸

宏

田

建治郎

平

芳

信

中

原 野

豊

野

芳

信

弘

日本文学演習 日本語学演習 日本語学講読 日本語学特殊講義 日本文学演習 日本文学演習 日本文学講読 日本文学講読 日本文学講読 日本文学特殊講義 日本文学特殊講義 日本文学特殊講義 日本文学特殊講義 日本文学概論 日本文学史VI 日本文学史V 日本語学演習 日本語学演習 日本語学講読 日本語学講読 日本語学特殊講義 日本語学特殊講義 (『蜻蛉日記』、『和泉式部日記』 (『武道伝来記』 (日本近代文学史 (日本語教育、 (『大坂独吟集』 (『源氏物語』) (村上春樹『東京奇譚集』、 (日本文学研究の基本的概念と技法 (日本近代文学史) (卒業論文演習 (卒業論文演習 (中古仮名文学、中世日記文学の語法・ (明治以降の近代小説 (現代日本語の音声) (古文の文法 (『源氏物語 (中原中也 (日本近現代文学と食 (西山宗因 (日本語の表現 (待遇表現 (日本語の方言 異文化コミュニケーション) 『向栄庵記』 谷崎潤 郎 森 平 平 尾 森 尾 森 中 平 尾 森 平 平 磯 林 磯 吹 磯 林 吹 添 磯 語彙 [細雪]) 野 野 崎 原 崎 野 野 野 野 部 部 屋 部 屋 田 部 芳 千 千 正 伸 佳 葉 伸 葉 建治郎 佳 芳 正 正 芳 芳 佳 佳 弘 豊 弘 弘 子 信 佳 信 弘 信 佳 信 信 宏 宏 子 宏 宏 佳 「うつくし」「うるはし」について 指導教員 日本語と韓国語における外来語の受容の差異について 格助詞の使い分け 構成的グルー 外国人日本語学習者にみられる日本語の誤用例と誤用分析 構成的グループエンカウンターでいいとこ探 類義語の意味分析 女性誌における「ダイエット」 指導教員 日本文学演習 日本文学演習 日本文学演習 二〇一〇年度卒業論文題目 自己表現力の向上について 自己背定感の向上と自己受容の関係性について― 「に」「へ」「を」「から」「と」について― 「話す」類・「うれしい」類・「ようやく」類 日本語学・日本文学コー 林 磯 プエンカウンター (卒業論文演習 (卒業論文演習 (卒業論文演習 部 佳 伸 宏 のあつかい の実践による Ż 池 湯 村 松 原 坂 磯 藤 平 尾 森 浅 上 本 田 井 野 本 尾 野 崎 なつみ 加奈子 菜 里 芳 正 泰 智 真

佳

彩

佳 弘

信

美

月

子

美

	源氏物語における周縁世界の女君たち		平安文学における動物のトリックスター性に関する研	指導教員 森 野 正 弘	江國香織『きらきらひかる』論	江國香織『夕闇の川のざくろ』論	山田詠美『ぼくは勉強ができない』論	江國香織『間宮兄弟』論	中島敦『山月記』論	遠藤周作『沈黙』論	指導教員 平 野 芳 信		古典語「はかばかし」と「はかなし」について		―「まかる」と「まうづ」、「まかづ」と「まゐる」を比較しながら	読み手を意識した敬語表現	―近現代の文学作品を資料として―	擬音語・擬態語の歴史的変遷について	―呼びかけの文末詞「ね」と「な」を中心に―	ナ行音文末詞の傾向と比較	中古語における継続・反復を表わす接尾辞「ふ」	―「いと」「いみじく」「いたく」―	平安・鎌倉期における程度副詞
2	楠	河	の研究		村	深	橋	Ш	大	池			吉	矢	比較し			原	小		Ш	伊	
1	本	野	九		田	堀	田	村	重	田			丸	頭	しなが			田	Щ		崎	藤	
	美	夏				香	夏		早地	紗也加			紗	朋	からし			節	彩		里	鈴	
Ì	季	美			文	林	海	輝	也花	加			帆	子	ı			子	夏		奈	香	
							参加者の振り返り記述をもとにした授業の質的研究	―学習者のマップ調査に基づく分析と検討―	日本語教育における学習者中心主義について	指導教員 林 伸 一	日本語学文学論	二〇一〇年度修士論文題目		―『曾呂里物語』との比較を中心に―	『御伽物語』の文芸性	『男色大鑑』前半部における西鶴の理想像	『西鶴織留』「本朝町人鑑」考	『世間胸算用』の主題―巻二、巻三を中心に―	指導教員 尾 崎 千 佳		源氏物語における色彩の研究	『源氏物語』における紫の上人物造型論	伊勢物語における〈みやび〉の研究
						守	九	衛						Щ		Щ	森	内			西	成	周
						政								本		崎	近	海			嶋	田	藤
						昭								香		品	志	友			杏	静	香

源氏物語の音楽に関する研究

繁富志織

澄

子 穂 華

子 枝 澄

浩

蕾